

瀬戸田診療所

広報誌 れもん

令和 7 年 7 月

第 22 号



瀬戸田診療所は、かかりつけ医として

皆様が島で安心して暮らし続けることができるよう支援します

皆様、こんにちは。瀬戸田診療所事務長の岡田 直(ただし)と申します。人事異動で、令和 5 年 4 月に瀬戸田診療所の勤務となって以来、2 年が経過しました。早いものです。

さて、私たち事務職の役割ですが、医師やスタッフが医療に専念できるよう、経営の面からサポートすることが主な役割です。電話対応の他、薬や物品等の購入、職員の給料や旅費等の支給、その他、予算全般の業務に携わっています。直近の仕事として、令和 6 年度の決算を尾道市へ報告をしたところです。具体的な数字は控えさせていただきますが赤字決算となり、事務に従事する者として大変申し訳なく思っています。

ただ、全国的に多くの病院は赤字経営で、大変厳しい状況に置かれているのが現状とのことです。赤字の原因は様々で一概には言えませんが、人口の減少もその一因です。日本全国の人口は平成 16 年の 1 億 2784 万人をピークに減少に転じ、令和 6 年の統計数値は 1 億 2380 万人とのことです。このままでは、75 年後の 2100 年には多くても 6407 万人、少ない場合は 3770 万人になるそうです。

なお、瀬戸田町の場合、尾道市の統計では令和 7 年 5 月 31 日時点の人口が 7,371 人、10 年前の平成 27 年は 8,453 人で、周りが以前よりも寂しくなった風に感じられているのではないでしょうか。このまま減り続けて、いずれは誰もいなくなってしまうのでしょうか？ それはないと思います。好不調の波があるように、また人口は上昇に転じるものと思います。特に根拠はありません、私の希望的観測に過ぎませんが。

ただ、人類の誕生以来、人口は常に上昇を続けている一方で、時折、その時代特有の要因により減少に転ずる出来事はあったそうです。有名な出来事では、14 世紀中頃のヨーロッパでのペストの蔓延で、このときは人口が 3 分の 2 にまで減少したそうです。恐ろしいことです。当時の医学水準ではペストの正体も不明で、施しようも無かったと言われています。

話は飛びますが、今日、私たちは医療水準がこれまでないほど進歩し、医療保険も充実した社会に生きており、これを利用しない手はありません。体調に異変を感じた時は、もよりの医療機関にお気軽に相談してください。また、定期的に健康診断を受ける等、ご自身の体調管理を心がける習慣を身に付けてください。

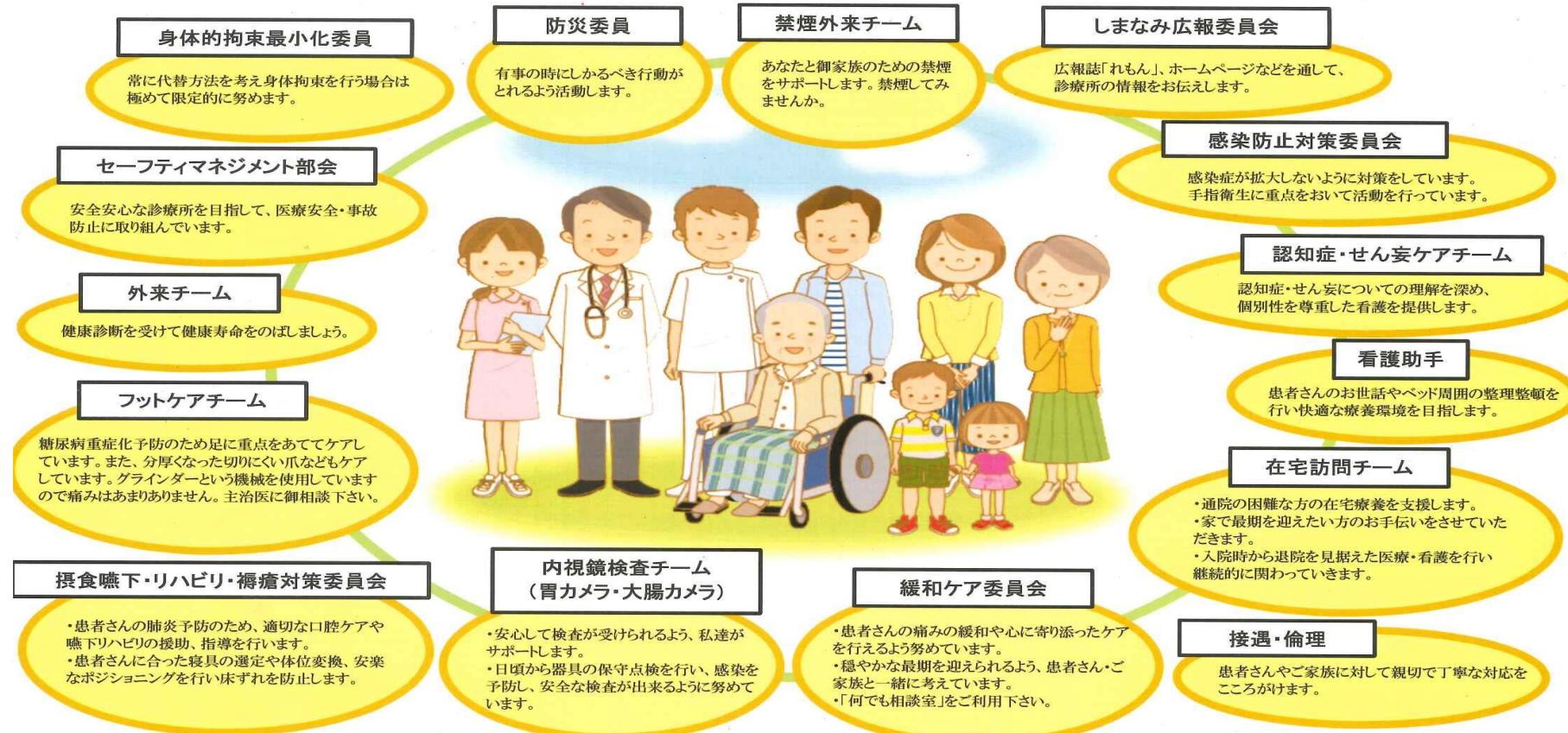
皆様が日々、健康的な生活を営み、それに合わせて地域の人口もまた上昇に転じ、以前の賑わいを取り戻すような、瀬戸田町のさらなる発展を祈願するとともに、これからも瀬戸田診療所は地域に密着した医療機関として、医療サービスを提供し続けてゆく所存でありますので、よろしくお願ひします。

地域に信頼される診療所になるために ～私たちはこんな活動をしています～

【看護科目標】

患者家族が安心できる療養生活を支援する

令和7年度 委員会活動・チーム活動



生口島圏域 医療・介護

ネットワーク会議に参加しました

コロナ禍以前、当診療所は「生口島地域ケア連絡協議会（通称 スイミー）」での活動に参加し、エンディングカードの作成や看取り講演会などを行ってきました。しかし、2020年のコロナ禍以降、地域の医療・福祉・介護事業所が一堂に会して集まる機会は中断されしていましたが、ようやく地域の関係職種での集まりが再開されました。

3月13日の夜に福祉保健センターで、「生口島圏域医療・介護ネットワーク会議」が開催され、前半は講義が行われました。尾道市高齢福祉課の方からは、尾道市の介護医療連携について。当診療所の大西所長からは、糖尿病と、糖尿病性腎症や透析についての講義でした。後半は、島内の医療・福祉・介護に携わる参加者が糖尿病患者さんの支援について、7つのグループに分かれ、活発に意見交換を行いました。

参加後のアンケートでは、勉強になった、分かりやすかった、様々な方と話が出来て良かったなどの意見がありました。また、今後テーマとして挙げて欲しいこととして、服薬管理、緩和ケア、心不全など、やはり薬や病気に関する事柄が挙がっていました。

今後も生口島圏域の医療機関の一員として、微力ながら皆様のお力になれればと思っています。



部門紹介

フットケア(足のケア)

当診療所では、専門的な講義を受講した3名の看護師が、医師の指示の下でフットケア(足のケア)を実施しています。

外来では、糖尿病患者の重症化予防のため、神経障害の有無を確認し、足浴や爪切り、うおの目・たこの処置等を行います。糖尿病が無くても処置の必要な方には対応しています。

病棟では、全入院患者さんの足の状態を観察し、必要なケアを行っています。足浴、保湿剤・白癬菌(水虫)等の外用薬の塗布、巻き爪・肥厚爪(分厚くなっている爪)の形を整える等の処置を入院中に実施しています。なお、外来でのフットケアは予約制のため、外来受診時にご相談ください。状態の改善に努めます。

(左)グラインダー(専用の機械)
(右)爪切りニッパー(専用の爪切りハサミ)
分厚くて硬い爪の処理をします



ホームページから広報誌「れもん」が読めます！

「瀬戸田診療所」で診療所のホームページを検索、「病院の紹介」の欄の一番下にある、青色の『広報誌れもん』のボタンをクリック！(押す)。

第18号以降の「れもん」が読めます。



瀬戸田診療所には、訪問・外来・病棟の3つの部門があり、密に連携しています

		月	火	水	木	金
午前	1診	大西	大西	エコー 内視鏡 15時～ 禁煙外来	大西	大西
	2診	小林	小林		小林	小林
午後	救急 診療	小林	大西		小林	大西
	訪問 診療	大西	小林		大西	小林

外来	平日 午前9時～12時 (受付は8時30分～11時まで)
救急診療	平日 午前8時30分～午後5時15分 (受付は午後4時30分まで)
当番日	午前9時～午後5時まで受付 第1・3・5日曜日、及び祝日 お盆、年末年始
尾道市健診	水曜日 午前中 ※大腸カメラは午後
糖尿病フットケア外来	予約制
なんでも相談	月3回不定期、院内に掲示

常勤医 2名 (内科) 所長 大西 肇、小林 愛沙
おおにし つよし こばやし あいさ

